

ROSSO通信 4月号

肝臓と腎臓の役割と検査値

肝臓

肝臓は、体重の約50分の1を占めているヒトの体で最も大きい臓器です。

- 1、体に必要なたんぱく質の合成・栄養の貯蔵
- 2、薬や有害物質の解毒と分解
- 3、食べ物の消化に必要な胆汁の合成・分泌



役割

腎臓

腎臓は、そら豆のような形で握りこぶしぐらいの大きさです。
腰のあたりに左右対称に2つあります。

- 1、老廃物の排出
- 2、血圧の調整機能
- 3、血液を作る司令塔
- 4、体液量・イオンバランスの調節
- 5、強い骨を作る

検査値

《肝細胞がダメージを受けているかの項目》

AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP

《肝細胞の動きが正常か見る項目》

総蛋白(TP)、アルブミン、アルブミングロブリン比(A/G比)、中性脂肪(TG)、総コレステロール(TC)、乳酸脱水素酵素(LDH)、プロトロンビン時間(PT)

《肝細胞・胆汁の流れに障害がないか見る項目》

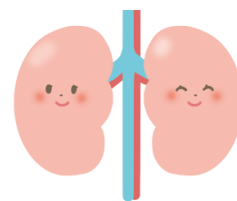
総ビリルビン、アルカリフォスファターゼ(ALP)

《腎臓のろ過機能を見る項目》

血中尿素窒素(BUN)、血清クレアチニン(Cr)、クレアチニンクリアランス(CCr)

《イオンバランスが正常か見る項目》

ナトリウム(Na)、カリウム(K)、クロル(Cl)、カルシウム(Ca)



肝臓は悪くなくてもすぐには症状が出ない臓器です。
悪いままにしておくと、肝硬変や胆管炎、肝臓がんにつながる可能性があります。
また、腎臓も同様に悪いままにしておくと透析が必要になる可能性があります。

早期に異常を発見し治療することで予後が良好な場合があります。

服用薬によって肝臓や腎臓に障害が起こる場合もあるので、

定期的に健康診断や血液検査を行いましょう。